つ　ば　き

第４６号

発行日　2013　年　7　月　1　日

発行者　社会福祉法人　椿福祉会
発行責任者　事務局長　寺谷　博
〒538-0031 大阪市鶴見区茨田大宮 2-2-25
TEL　(06) 6911-1002　fax (06) 6911-1006
HP　http://tsubaki-fukushikai.com/

東日本大震災
椿福祉会との被災地支援

2011 年 3 月 11 日、東日本大震災を奈良で迎える。月のうち半分以上を過ごす妻の実家岩手県に、住職である息子との連絡は比較的早くつきました。テレビで見る被害の大きさに驚愕しつつ、交通網が整備されるのを待って、岩手県の水沢にたどり着いたのが 3 月 28 日、福祉関係の仲間に連絡し震災地に入れたのが 4 月 13 日、岩手県沿岸部、久慈から南下し宮城県の名取まで、17 日までの 5 日間、被災地を回り実情を発信、その後岩手県の遠野・陸前高田市で福祉関係者による合宿研修、福島県の福島大学で研究集会と、震災・津波・原子炉事故による被害や復興に向け立ち向かう住民に寄り添い、私たち福祉関係者の役割を共に考える基盤をつくることができました。

9 月 12 日、平尾理事長と下中さんと私で現地を訪問、理事長の活動仲間である現地共作連関係者と、山田町まで足をのばし支援金を手渡し復興を激励しました。椿福祉会としても、１年がけで理事長を始め職員の給与から１００万円の支援金を募り、被災地の障がい者施設や共作連、日本障がいフォーラム（ＪＤＦ）の活動を支援しています。２回目の現地支援は、陸前高田市に設置されたＪＤＦのいわて支援センターを訪問することとし、依頼された私がお尋ねしました。陸前高田市は市職員の４分の１以上が犠牲になられ、８人おられた保健師の６人が亡くなられています。そんな状況下でＪＤＦが働きかけ、市がセンターに委嘱、障がいのある方の実態調査と支援活動を行うところでした。個人情報保護法の例外規定を活用、市が団体に障がい者手帳保持者の名簿を開示し悉皆調査が行われたのです。

東日本大震災の被災障がい者の高い死亡率が問題となり、「障がいゆえに」障がいからくる不利益は、死亡率だけでなく発生後のあらゆる場面で「そうであった」のではないでしょうか。国は、先の悉皆調査の結果も活かし、障がい者や高齢者を十分意識した防災対策や震災対策の見直しを行う必要があると思う。

社会福祉法人　椿福祉会
監　事　　豊田　八郎

第４６号　もくじ

つるみの郷　外出行事

つるみの郷では5月～6月にかけて、８つのグループに分かれて、外出行事を行いました。今回はその内、５月16日に行った１班と３班の様子を紹介したいと思います。まずは１班の紹介です。

つり橋を手をつなぎ渡り切りました

１班は、堺のハーベストの丘に行ってきました。当日は、天候にも恵まれ外出日和となりました。到着して直ぐにつり橋が目にとまりました。風が少し吹いており、橋は揺れていましたが、手をつないで全員で渡り切りました。昼食は、レストランにて大きなウィンナー入りのカレーライスを食べました。みんな黙々と食べて、おいしかったと言う声も聞こえました。その後、動物を見て回り、観覧車に乗り、動物ふれあい広場で、ウサギやカメ、ニワトリに触れ合いました。恐がる事無く触っていました。最後にお土産を購入し、つるみの郷へ帰りました。

（武田）

続いて３班の紹介です。

３班は大阪市立科学館へ行きました。昼食は中之島公園で買った弁当を食べたのですが、晴天にも恵まれ川のほとりで摂る昼食はとてもおいしかったです。中之島公園からは川辺を歩き、大阪市立科学館へと向かいました。館内では、宇宙や科学やエネルギーに関する資料や展示物がたくさんあり、眺めていたり触ってみたりと興味を示す姿が見られました。また、メインでもあるプラネタリウムも皆で鑑賞してきました。上映時間が45分あったのですが、あっという間に時間が過ぎるほど、宇宙の広大さに触れる事が出来ました。皆さん楽しめた様子でとても良い一日になったかと思います。

（西川）

宇宙や化学に興味津々

春の遠足

春の遠足について

5月17・22・24・29日、計4グループに分かれ池田市の五月山公園に遠足に行く計画を立てました。この遠足の目的は、五月山公園にある小さな動物園でアルパカなどの動物に触れ合いえさをあげることと、五月山公園の自然の中でお弁当を食べることの二つです。余った時間は各グループで相談して伊丹空港に行くグループ、植物園の芝生でのんびりしたグループ、ドライブしたグループなど個々に楽しむ時間にしました。残念ながら当日が雨だったため須磨水族館に行ったグループもありましたが、どのグループも思い出に残る楽しい遠足ができたようで皆さん笑顔で帰ってきました。

ぶら下がるイモムシとくつろぐ皆さん

自然の中で食べるお弁当

五月山公園到着後、早速お弁当を食べる場所探しをしました。季節の影響なのか、お弁当に寄って来たのか虫が沢山いました。イモムシが透明の糸を垂らしてぶら下がっていたり、飛んでいる虫で前が見えなかったり、ザトウムシという大きな虫が地面をはっていたり。普段経験したことがない光景に一同「ワー！」「キャー！」の大騒ぎでした。でも、大自然の中で食べるお弁当は一味違います。皆さんすぐに状況に慣れて虫を追っ払いながらしっかり食べていました。

五月山の空気は気持イイ！

動物との触れ合い

五月山動物園にいるヤギやアルパカなどは大人しい草食動物ですが、初めて見る人にとっては得体の知れない怖い生き物だったようです。俺、アルパカにえさやれるんや」と前日まで職員と一緒にイメージトレーニングを何度もして完璧な状態に仕上がっていたTさんでしたが、本物のアルパカを目の前にすると怖くなって逃走…、と思いきや最後の最後で「帰って皆にほめてもらうんや！」と言い勇気を振り絞って震える手のひらにえさを乗せて成功させたTさん。個人的に、本当にここに皆さんと来ることができて良かったです。

少人数の取り組みなのでゆったりとした時間と自由度の高さが非常によかった取り組みでした。来年の遠足のことが今から気になってしまいますね。

ちょっと怖かったけど、俺頑張ったで！

(山之内)

イオンの店頭活動に参加しました♪

5月11日(土)、イオン鶴見緑地店の1階にて、毎月11日恒例の『イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン』の店頭活動に行ってきました。今回はニューフェイス1名が加わって、利用者3名、職員2名の計5名で参加しました。

大きな声で呼びかける、黄色いレシート、ご協力お願いします」の第一声がドキドキして、なかなか出せなかったとのこと。声をかけるタイミングがなかなかつかめずにいると、隣にいる心強い友達（この活動に毎回参加している）が、黄色いレシート、ご協力、よろしくお願いしまーす!」と言っているのを横で見ていると自分もつられて、お願いしまーす!」と言っていたそうです。

そうこうしていると、自分の持っている箱にレシートを入れてくれる人がいて、すごくうれしくなり、自分も一生懸命に声を出してきた!と帰ってきてうれしそうに話してくれました。

ニューフェイスAさんに、初めてのことばかりで、疲れたのでは?」と尋ねましたが、全然!すごく楽しかったよ」とドヤ顔で言ってくれました。他の2名の利用者も楽しかったとのこと。回を重ねるごとに、どのタイミングで声をかけるのが良いか、レシートを入れてくれる人が入れやすいようにする持ち方など、いろんなことを工夫しながらしていることを話してくれて、今回も充実した時間を過ごすことができたようです。

黄色いレシートお願いしまー

きれいにピカピカ、大そうじ

毎年、春と秋に行っている恒例のグループホーム大掃除の季節が今年もやって来ました。グループホームは全部で8か所ありますが、今回は3週に渡って、隅から隅まで掃除を行いました。この掃除をするにあたって、前の夜から掃除に取りかかった人、理由をつけて大掃除から逃げようとした人などなど、今回もなかなか大変なものではありましたが、家族の皆さんや支援員の皆さんの協力もあって、見違えるほどピカピカになりました。たくさんのゴミと衣替えの衣類の山を最初に見た時は、本当に今日のうちに終わるのかなぁ」と正直思いましたが、せっせと片づけ、コインランドリーを占拠した結果、何とか無事に終える事ができました。いつ、誰が部屋に来ても問題のないよう、日頃からきれいにすることを心がけておかねばならないなと私自身も思った大掃除でした。　（東江）

バーベキュー行事

2013年4月21日（木）生活介護と就労事業部でバーベキュー行事を行いました。天候に恵まれ、絶好のバーベキュー日和となりました。利用者は朝から楽しみにしており、炭の臭いがしだすと更にわくわくした様子でした。

昼食の時間になり職員がグループごとに呼ぶと各々の席に着きます。「いい匂いがする」「肉も野菜もおいしそう」と楽しげな声が飛び交っていました。

いつもと違う雰囲気で楽しむことができました。また生活介護と就労との交流の場にもなり、普段接することのない方同士で話をしている姿も見られました。終わってからも「また、やりたいな」と次のバーベキューを楽しみに話が弾んでいました。

（加藤）

お肉とお野菜、おいしかった

就労事業部で遠足に行きました

2013年5月17日(木)地下鉄を利用して大阪名所のひとつである通天閣周辺を散策し、そして利用者がビリケンさんにお願い事をしたいとの事で通天閣に入場しました。残念ながら、入場しなかった利用者もおられましたが、展望台に行くと大阪の街並みを眼下に望むことができました。

新世界で串カツを食べました

「お腹が、すいた」と利用者のひとりが言ったので時計を見ると昼時です。じゃんじゃん横町と言えば、串カツです。利用者は揚げたての串カツに目を輝かせきれいにたいらげていました。

午後からは、天王寺動物園内を散策しました。いろんな動物たちがそれぞれの動き・表情をかもしだし、利用者それぞれ動物と触れあい楽しそうにしていました。利用者からは、「楽しかった」や「串カツ、おいしかった」との声があり有意義な一日になった事でしょう。今後もいろんな体験や鑑賞・芸術に取り組んでいければと思っています。

（松下）

職場訪問取材に行ってきました

大きな会社です

２０１３年5月21日(火)、ワークセンター(宿泊型自立訓練事業所)の利用者Oさんが日中働いている摂津市にある、株式会社ダイキンサンライズ摂津に職場訪問を兼ねて取材に行ってきました。ダイキンサンライズ摂津は、知的・精神・肢体・聴覚に障がいのある方が１００人程働いている大規模な会社です。

始めに、工場長と製造部長、企画部長と懇談し、Oさんの仕事の様子等についての話を聞いた後、部長の方と一緒にOさんの働いている様子を見学しに行きました。工場内は、障がいの特性に合わせた工夫をしており、誰もが仕事がしやすい環境であり、すごいスピードで仕事をこなす人もいました。

Oさんは、ダイキン製品の書類等の袋詰めや部品集めをすばやく行っていました。仕事仲間のリーダーの話によると、「くじけたりする事もあるが、切り替えが早いですね」や「コミュニケーションが活発で、仕事仲間に愛されるキャラですよ」とほめて下さいました。

取扱説明書等書類の袋詰めをしています

最後にお忙しい中、取材にご協力いただいたダイキンサンライズ摂津の方々、大変お世話になりありがとうございました。

(原口)

今年で２０周年を迎えます

「区相談支援センター」2012年度活動報告

大阪市は24行政区毎に1カ所、区障がい者相談支援センターをつくることとなり、鶴見区障がい者相談支援センターは当法人が受託し、4月より行政・関係機関と連携しながら相談支援事業をすすめてきました。

改正障害者自立支援法にもとづきこの3年間かけて、障がい福祉サービスを利用する場合はサービス利用計画が必要になること、また4月よりすべての障がい児者が対象になったことから、障がい特性に対する専門知識や支援技術が求められることが多くなり、具体的な相談件数でも身体障がい及び精神障がいを中心に相談件数が増えました。相談受付ルートは、利用者本人39%、家族が10%、サービス事業所が34%、行政・医療機関等13%、その他が4%等です。

年間相談受付件数

	視覚	聴覚	肢体	知的	精神	障がい児	重複	合計
利用登録者	2	0	29	700	308	7	64	1,110
単発相談者	6	6	156	370	324	11	81	954
合計	8	6	185	1,070	632	18	145	2,064

①相談内容は、福祉サービスの利用援助が、相談件数の36%を占めており、利用者、家族の意向を確認しながら支援調整しました。

②社会資源の活用については、相談件数も全体の27%で、要望も高いですが、鶴見区には障がい福祉サービス等のフォーマルな支援は質・量とも不充分であり、新たにインフォーマルなものもふくめて関係機関と連携して開発していく必要があります。

③社会生活力を高めるための支援については低調で、今後自立した生活をめざし体験利用できる事業所の確保やプログラム、支援方法を関係機関と検討をすすめていく必要があります。

④ピアカウンセラーの業務については、4月より肢体障がいの方2名、聴覚障がいの方1名、計3名相談員として配置し、当事者の相談活動に従事しています。今後は障がい特性に配慮した相談支援業務をすすめます。

⑤権利擁護のための援助は、成年後見に関する相談も多く、関係機関と連携しながら対応しています。また、障害者虐待防止法施行の10月以降、本格化し、数件相談があり、区保健福祉センターと連携して支援をすすめました。9月には関係機関と共催で虐待防止の研修を開催しました。

最後に障がい者自立支援協議会については、中核的な役割を果たしていく必要があることから、区保健福祉センターと事務局体制をつくりながら、運営委員会、事業所・地域等の部会運営、相談支援事業所同士の調整及び交流、研修会、交流会・相談会の開催、困難事例のケースカンファレンス等すすめていきます。

（下中）

2013年度職員体制

管理者兼相談員　下中　敏行

相談員　廣瀬　謙

小室八千代

岡田　律

相談員兼ピアカウンセラー

前川　泰輝

高橋　弘生

中川　智美

よろしくお願いします。

□　法人の予定等

※2013 年度　職員募集要項が決まりました。

職員採用面接日　　7 月 31 日（水）　8 月 3 日（土）　9 月 7 日（土）

詳しくは、ホームページもしくは法人本部事務局までお問合せください。

℡　06-6911-1002　事務局長　寺谷まで

□　法人研修報告

新年度を迎え、職員の研修に力を入れています。特に人権問題については、全体の研修に加え、事業所ごとに具体的な虐待事例をあげて継続して行っています。

４月１２日　・・・新人職員研修　　　６月７日　・・・主任研修
４月２４日　・・・人権研修（全体）
５月２２日　・・・人権研修（つるみの郷）
５月３１日　・・・人権研修（つるみ更生指導所）
６月　６日　・・・人権研修（グループホーム）
６月２５日　・・・人権研修（ヘルプセンター、相談事業所
６月２７日　・・・人権研修（ワークセンター）

寄付金等ありがとうございました

2013 年 4 月～5 月（順不同）

大阪府玩具・人形問屋協同組合連合会　様
ベラジオコーポレーション株式会社　様
今福タイガー　様　　　大阪市福祉局　様
寺崎　由起　様　　　豊田　八郎　様
堀川　文雄　様　　　大前　哲彦　様
高木　晟　様

本年度の編集委員を紹介します！

読みやすい紙面作りをめざし頑張ります。

発行責任者　寺谷　博

編集責任者	大石真理子
つるみ更生指導所	山之内泰輔
つるみの郷	門矢　憲司
グループホーム	東江依里子
ワークセンター	原口　克己
ヘルプセンター	綾部　真美

【後　記】

最近私の周りには、自分のお腹をさすっている人が増えてきています。決して痛むわけではなく、順調に育ってきている様です。そう言う私も、「パンの上にお肉が乗る」と言っていた同僚の言葉が現実味をおびてきました。▽毎日、昼過ぎに焼き立てパンが届きます。ワークセンターつるみの郷の就労事業部で、パンの製造、販売を始めて一年。試食、味見をしなければ」と勝手に理由を付け、味わってしまうのが日課となっています。▽今年も暑い夏になりそうです。夏でも食欲をそそるパンが届きそうです。味わってみたい方は、ワークセンター就労事業部までご連絡ください。

（℡０６－６９１３－０４６１）

Ｏ・Ｍ